

プレスリリースご担当者様

株式会社ニューディアー

【日本初上映作も】
世界のユニークなアニメをツッコミトーク付きで上映
「変態(メタモルフォーゼ)アニメーションナイト ザ・ツアー：セレブレート」開催!
外国人作家3名が来日し、アニメ研究者と共に全国4都市を行脚する異色のクリスマスイベント

株式会社ニューディアー（東京都中野区、代表取締役：土居伸彰）は、アカデミー賞ノミネート作『父を探して』を配給するなど、世界の優れた/面白いアニメーションを配給・紹介している会社です。弊社はこのたび、2017年12月、「変態（メタモルフォーゼ）アニメーションナイト ザ・ツアー：セレブレート」を開催します。本イベントは、世界から集めたユニークなアニメーションの上映に加え、作家自身が行うライブパフォーマンス、さらにはインパクトの強すぎる作品に対し専門家が解説・ツッコミトークを共に行うものです。

「変態（メタモルフォーゼ）アニメーションナイト」は、2012年、日本ではなかなか紹介されないユニークで衝撃的な短編アニメーションを、世界中から集め、ゲストのトークと共にみんなでワイワイ楽しむイベントとしてスタートしました。その後日本各地で開催され、チケット毎回売り切れ続出の人気イベントに成長しました。この度、イベント5周年を記念して、札幌（12/16）・京都（12/19）・東京（12/22）・福岡（12/23）を回る上映ツアーを開催します。



上映する作品は、映画館では上映されることの少ない短編アニメーション作品。ユニークすぎて映画祭でも受賞することがなく、テレビでも放映されることはない、けれども一度観たら忘れられないインパクトと、魅力を持っている作品ばかりです。（今回のツアーで上映する作品は、p.6～7をご参照ください。）

イベント名の「変態」は、いわゆるヘンタイ=“アブノーマルな”という意味の他に、メタモルフォーゼ=“変身”“変容”、つまりアニメーションの本質とも言える、あるものが別のものに絶え間なく変容していく動きのことも示しています。この多義性のある言葉は、今までにない上映形態で作品の魅力を紹介していくこのイベントにふさわしい、という想いで名付けられました。名付けの経緯について詳しくは、こちらの記事 <https://newreel.jp/feature/1120> をご覧ください。

これまでのイベントで、世界各国から集まった怪作を目撃した方からは、「こんなに自由でいいんだ!」「意味に縛られていた自分に気づいた」など、その心持ちをも変態（メタモルフォーゼ）したような感想も寄せられています。

また、いとうせいこうさん、都築響一さん、しりあがり寿さん、長尾謙一郎さん、環 ROY さん、テンテンコさん他、各界の著名人の方からも、絶賛・応援のコメントを頂いている、注目のイベントです。（各人のコメントはP.2～3をご覧ください。）

先日、本イベントの魅力余すところなく捉えた予告編もリリースされました。

<https://www.youtube.com/watch?v=5ayV9nGcFis>

この唯一無二のイベントを貴媒体にて、例えばクリスマス・年末シーズンの変わったイベントとして、またカルチャー情報として、ご取材・ご紹介いただけますと幸いです。

お問い合わせ

「変態アニメーションナイト ザ・ツアー セレブレート」 広報担当：ニューディアー福永、藤田
〒165-0034 東京都中野区大和町3-7-2 増田ビル201
福永 Tel：080-1385-5219 E-mail：sf@newdeer.net
藤田 Tel：090-9244-5312 E-mail：rf@newdeer.net



【変態アニメーションナイト ザ・ツアー：セレブレート 概要】

一度みたら忘れられない奇妙で笑える短編アニメーションをMC・ツッコミ付きで、みんなで楽しむ人気企画「変態アニメーションナイト」（通称：「変態ナイト」）が、初の全国ツアーを敢行！今年2017年は、日本アニメーション誕生100周年の年。そこで、「セレブレート」をテーマに据えて「変態ナイト」なりにこのおめでたい年を祝います。

札幌・東京・京都・福岡をめぐる！史上初の上映ツアー

「変態アニメーションナイト ザ・ツアー：セレブレート」は、12月16日（土）プラザ2・5（札幌）、19日（火）龍谷大学響都ホール校友会館（京都）、22日（金）なかのZERO大ホール（東京）、23日（土）福岡市総合図書館映像ホール・シネラ（福岡）の4会場にて開催。全国各地でイベントを行ってきた「変態ナイト」の初めての試みです。

チケットは、イープラスにて現在好評発売中。購入はこちら▶<https://eplus.jp/ath/word/1140051>

人気「変態」作家3名が来日！注目の日本人作家も出演。

今回は特別な試みとして、過去の「変態ナイト」で人気となった3名の作家-ピーター・ミラード（イギリス）、エイミー・ロックハート（カナダ）、ホン・ハクスン（韓国）が来日。日本代表として、動画『ゴキブリ体操』

（<https://www.youtube.com/watch?v=64ixCkz4kJ0&>）が、Twitterで話題を呼んでいる冠木佐和子も出演します。MCを務めるのは、日本を代表するアニメーション作家の水江未来と、本イベントのプログラム選定を担当する土居伸彰（アニメーション研究者／ニューディアー主宰／新千歳空港国際アニメーション映画祭フェスティバル・ディレクター）です。

ここでしか体験できない！ライブならではのプログラム満載。

このツアーの最大の魅力は、ライブならではのプログラムの数々。

個性的なキャラクターの切り絵アニメーションで知られるエイミー・ロックハートは、代表作を上映しながらライブでフレコを実施。ネットでは観られない、特別バージョンを目撃することができます。

カラフルでダイナミックな動きと、ジャズや即興音楽などを使用したユニークなサウンドに定評がある作家ピーター・ミラードは、製作中の新作「ピーター・ミラードが教える日本アニメ100年の歴史（仮）」の音声をライブで録音。観客の皆さんの声が、後世に語り継がれるであろうピーターの作品の一部になります。

冠木佐和子は、『ゴキブリ体操』の続編をライブ撮影！ここで撮影された客席の皆さんの動きが、後日完成するゴキブリのアニメーションに変換されます。

充実の上映プログラム！日本初上映作品も。

上映プログラムも充実。過去「変態ナイト」で人気を博した作品のリバイバル上映に加え、日本初上映となる作品もラインナップ。その一部を、予告編動画でご紹介しております。（作品名・スチルはp.5～参照）

予告編動画はこちらからご覧ください。<https://www.youtube.com/watch?v=5ayV9nGcFis>

本イベントのメインビジュアル（p.1）には、上映作品からのキャラクターが散りばめられています。どのキャラクターがどの作品に出て来るのか…ぜひ予告編を探してみてください。

各界から絶賛・注目のコメント多数！*下記のコメントは、抜粋可能です。（やけのはら氏コメントを除く）

いとうせいこう

変態アニメナイトをなかのゼロで？ それはトチ狂ったね

長尾謙一郎（漫画家）*右イラストもご使用いただけます。

変態アニメは地球を救う！



都築響一

絵筆やクレヨンを持つよりも先に、携帯やタブレットのディスプレイを触る子供たちが生まれてくる時代にあって、アニメーションはどう変わっていくのだろう。莫大な予算と人員を使って現実に近づくアニメがあるいっぽうで、ただ衝動にもとづいて現実と仮想現実のあいだを直感的に結ぶ、極限にパーソナルなアニメもまた増えていくはずだ。これは「変態がつくるアニメ」じゃない。表現の未来形に向かって変態していくアニメなのだ。

しりあがり寿（漫画家）

いやー、おそろべし変態アニメーションの世界。ボクらの周りの『良い子』のためのアニメーションの外側にこんなにもたくさんの『良い子』のためとは言い切れないwグショグショな世界が広がってるとは！それは生命に満ちた原始の海、猛々しいカオスの渦、そして荒ぶるアニメの巣窟！油断してると飲み込まれるよ。

環 ROY（ラッパー）

僕たち日本人が"アニメ"と聞いて想起するような"アニメ"以外にも、世界には様々なアニメーションがあるようです。もっと見たいし知りたいと思いました。「動いている」という錯覚を僕たちが失わない限り、アニメは産まれ続けます。

テンテンコ（アーティスト）

世界いいなあってなる。こういうものがあるんだと思うと、救われた気持ちになる。

久野遥子（アニメーション作家・漫画家）

きつとあなたに向けたアニメーションでもないし、わたしに向けたアニメーションでもないけれど、こういうものに溢れた世界であってほしい。

谷口菜津子（漫画家）*右イラストもご使用いただけます。

感動！共感！納得！という気持ちには全くならなかった。

そして残るのは言葉に表せないモヤつき。

悪いモヤでもない。

しかし決して良いモヤでもない。

でも、ただただじっと、取り憑かれているかのように観ちゃう。



松井周（劇作家・演出家・俳優・サンプル主宰）

こんな宝物がまだあったんだ！という喜びを感じます。作品の一部だけしか拝見していませんが、はやくこれらの作品群をからだいっぱい浴びたい気持ちになりました。いつの間にか身につけてしまった窮屈な常識とか言葉とかを脱がされて、そうだ自分はこれからまだ何にでもなれると思えるよう、iPS細胞的な暗示をかけてもらいたいです。モノでも線でも宇宙でも神でも、なれるものならばなんでもです。変態（＝メタモルフォーゼ）したいという欲望こそが希望だと素直に思っています。

やけのはら（DJ）*抜粋不可

アニメーションに関して全く知識はないので、直感、および、自分が今まで音楽、映画、小説など、他の表現技法による創作物から得た、言語、ものさしでの判断ですが、楽しく、興味深く拝見しました。無から、生命を宿し立ち上がる精霊、線と色、自由で無限の可能性。意味性よりも、何かが動く、形を変えるとといった原始的な快楽にフォーカスした作品が特に面白かったです。アニメーションという技法の可能性探索のベクトルの違い、力点の違い、つまり多様性が印象的でしたが、一番好きだったのはピーター・ミラード氏の「アンハッピー・ハッピー」です。ピーター氏の作品からは、奥行きのある鋭い作家性、普遍性を感じました。

加賀美 健（現代美術作家）*「ミス・エドモントン・ティーンバーガー」についてのコメント

不味い！もう一杯

スケラッコ（漫画家）*「ダナ・シンクのボールシリーズ」を観てのコメント

無表情に転がり、落ち、飛んでいくボール。いつしかボールの行方に夢中になっています。がんばれボール！

ピーター・ミラード 新作クラウドファンディング実施中！

「ザ・ツアー」で来日する「変態アニメーション界の“貴公子”」こと、ピーター・ミラード。

子どもが描いたような絵が予測不能な連鎖反応を見せる唯一無二の作風。ロンドン自然史博物館で働く傍ら、クレイジーな短編を数多く制作し、その作品は世界中の映画祭で上映され、愛されています。私たちニューディアーは、「大好きなピーターに渾身の次回作を作ってもらいたい！」という想いで、CAMPFIREにて、新作制作を応援する

クラウドファンディング・プロジェクトを立ち上げました。

プロジェクトページは <https://camp-fire.jp/projects/view/52545>



新作のテーマは、日本アニメーションの100年について。ピーターお得意の手法で、今年100周年を迎える日本のアニメーションの歴史を、ぎゅっと凝縮した作品に仕上がること間違いなしです。新作のDVDや、あなたのためにピーターが作る名前アニメーションなど、様々なリターン（お礼の品）をご用意してお待ちしております！

プロジェクトページには、ピーターの過去作を掲載していますので、ぜひご覧になってみてください。



DOMMUNEでのプレイベント、大反響！

ツアー本番に先立って、2017年11月28日、5時間に渡るプレイベントを宇川直宏氏主宰のライブストリーミングチャンネル DOMMUNE にて開催。前半はテンテンコ、土居伸彰、水江未来によるトーク「変態アニメーションとは何か?」。変態アニメーションナイトの企画に込めた思いや、5年に渡るその歴史を紹介。また、本イベントのために来日する3名の作家にフォーカスを当て、作品の一部上映と解説トークが繰り広げられました。後半は、アニメーションに所縁のあるミュージシャン・DJと、日本を代表する若手アニメーション作家たちによるVJの、ライブパフォーマンス。配信の視聴者は25,000人を超えるなど、話題となりました。（写真：nanabannai）



出演：テンテンコ、水江未来、土居伸彰

ライブ：テンテンコ、JOJO 広重、1980YEN DJ：BDH / BUDDHAHOUSE

VJ：平岡政展 & 山田遠志、幸洋子 & 田村聡和 (ONIONSKIN)、冠木佐和子



「変態アニメーションナイト ザ・ツアー：セレブレート」

【出演作家】 本イベントに出演する作家とその作品です。

1. ピーター・ミラード

Peter Millard [イギリス]



1988年イギリス生まれ。19歳からアニメーションの制作を開始。ウェールズ大学ニューポート校で学び、卒業制作の『カスタード』Custardは、アメリカ、カナダ、イタリアなど各地の映画祭において受賞。大学卒業後、ロンドンの名門美術学校ロイヤル・カレッジ・オブ・アート(RCA)に入学。卒業制作の『Boogodobiegodongo』は動画投稿サイトvimeoで、運営スタッフが推薦する選りすぐりの作品「Staff Picks」に選ばれ、話題に。その再生数は600,000回を超える。

2012年にRCAを卒業した後は、博物館で働く傍ら、アニメーションを制作。ロンドンを拠点に活動している。今年6月に開催されたオタワ国際アニメーションフェスティバルでは、シグナル・フィルムを制作。同映画祭では、ABBAの名曲に乗せてピーターの世界が展開する『L.A.Y.L.O.M』(2016年)が上映された。

2. エイミー・ロックハート Amy Lockhart [カナダ]



カナダ生まれ。映像作家、アニメーション作家、アーティスト。アメリカのアナーバー映画祭、広島国際アニメーションフェスティバルなど、国内外の映画祭で作品が多数上映されている。カリフォルニア芸術大学、シカゴ美術館附属美術大学などでレジデンスを経験。2011年、カナダ芸術カウンシルの支援を受け、NFB(カナダ国立映画製作庁)で奨学金給費研究員として制作活動を行なった。2009年にはモントリオールの出版社Drawn & Quarterlyより、作品集『Dirty Dishes』を出版。彼女の作品はアニメーション作品のみに留まらず、ジン、彫刻、ドローイング、油画、実写映画などを幅広いメディアで制作。アメリカ国内のみならず、イギリス、スウェーデンでも個展を多数開催している。

また、作家としての活躍のかたわら、後進の育成にも携わる。

エドビデオ(Ed Video)、トロント・アニメーション協会(TAIS)、クイックドロー・アニメーション・ソサエティ(Quickdraw Animation Society)所属。

3. ホン・ハクスン Hong Hak-soon [韓国] *東京・福岡のみ出演



1973年韓国生まれ。アーティスト、アニメーション作家。

アニメーション、絵画、彫刻、漫画など多様な形で、ウィンクするうさぎのキャラクター「ウィンク・ラビット」と、その仲間たちの世界を表現している。

中学卒業後、桂園美術大学に入学。退学後、韓国映画アカデミーでアニメーションを本格的に学ぶ。在学中に制作した『ティ・ティリプーのマンディンさん』は、2009年、韓国のインディ・アニメーションの映画祭「インディ・アニメーション」にて大賞を受賞、『走り続けるインカさん』も招待上映される。なお、2010年にはこの映画祭のトレーラーを制作、2011年には映画祭ポスターにもイメージが起用されている。

2017年には、アヴェニュー・アート・ホール(ソウル)、ロッテ・ギャラリー(プサン)にて個展「本能美容室」を開催。

2016年公開の映画『隠された時間』(オム・テファ監督)では、カン・ドンウォン演じる主人公が描く謎めいた絵文字の制作を担当した。ホン・ハクスン本人自身も、映画主演デビューが噂されている…実は、占星術も得意。

4. 冠木佐和子 Sawako Kabuki [日本] *東京のみ出演



1990年、東京都生まれ。

多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業。アダルトビデオ制作会社に就職、退職。その後多摩美術大学大学院修了。主に軽快な性愛アニメーションを主に制作している。アヌシー国際アニメーションフェスティバル学生部門準グランプリ受賞、ザグレブ国際アニメーションフェスティバル学生部門グランプリ & 審査員特別賞受賞、SXSW 審査員特別賞受賞、ゆうばり国際ファンタスティック映画祭優秀芸術賞受賞、Animatou 国際アニメーション映画祭グランプリ受賞、サンダンス映画祭入選など 国内外20ヶ国以上でノミネート歴あり。

【上映作品】

この他にも、当日まで秘密のシークレット上映作品も。

P9～10に、このページに掲載の作品紹介文と一部作品の視聴リンクを添付しております。

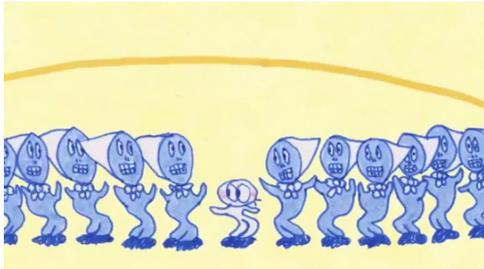
▼ピーター・ミラード [イギリス] 『フルーツ・フルーツ』



▼エイミー・ロックハート [カナダ] 『ミス・エドモントン・ティーンバーガー1983 "あなたは永遠"』



▼ホン・ハクスン [韓国] 『ワルツ・ドリーム』



▼冠木佐和子 [日本] 『ゴキブリ体操』



▼ヴィンス・コリンズ [アメリカ] ヴィンス・コリンズ小特集 (『LOST IN TIME』ほか)



▼ベリスラフ・カザコフ [カナダ] 『オーバーキャスト』



▼マルテ・ステイン [ドイツ] 『ブルードリーム』



▼ヴリンダ・ザヴェリ [アメリカ]
『アイランド・オブ・イーポー』



▼カシア・ナレワージカ [イギリス]
『パイナップル・カラマリ』



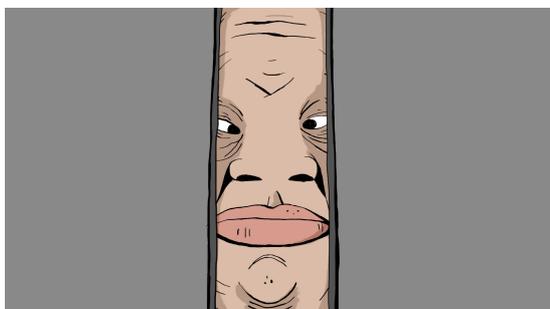
▼ニコライ・トドロフ [ブルガリア]
『ナイトメア』



▼ダニエル・ルンドキスト [アメリカ]
『ボリス』



▼ティム・デュバル [イギリス]
『シングス・ドント・フィット』



▼アルベルト・バスケス [スペイン=フランス]
『デコラド』



【開催スケジュール・会場・チケット料金・出演】

2017年12月16日(土) 札幌・札幌プラザ2・5

開場：16時、開演：17時／前売：2,500円、当日：3,000円

2017年12月19日(火) 京都・龍谷大学響都ホール校友会館

開場：18時、開演：19時／前売：2,500円、当日：3,000円

2017年12月22日(金) 東京・なかのZERO大ホール

開場：18時、開演：19時／前売：2,500円、当日：3,500円

2017年12月23日(土) 福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

開場：14時、開演：15時／前売：2,500円、当日：3,000円

出演：ピーター・ミラード、エイミー・ロックハート、ホン・ハクスン、冠木佐和子
※ホン・ハクスンは東京・福岡のみ、冠木佐和子は東京のみの出演となります。

MC：水江未来、土居伸彰

チケット（自由席・整理番号付）はイープラスにて発売中。

<https://eplus.jp/ath/word/114005>

【最新情報】

「変態アニメーションナイト ザ・ツアー」の最新情報は公式サイト・SNSでご覧いただけます。

作家紹介ほか、コンテンツを随時更新中！

公式サイト：<http://newdeer.net/hentai-tour/>

公式 Twitter @georama_jp：http://twitter.com/georama_jp

公式 Facebook @metamonight：<https://www.facebook.com/metamonight/>

公式 Instagram @_new_deer：http://instagram.com/_new_deer

【各種素材】

下記よりダウンロードいただけます。メールでの送付をご希望の方は、

ニューディーアー 広報担当藤田 (rf@newdeer.net) までお問い合わせください。

- ・最新チラシ（新メインビジュアル）：<https://goo.gl/oDP3pA>
- ・作品スチル：<https://goo.gl/TLTjeB>
- ・出演作家・MC プロフィール写真：<https://goo.gl/pndBSZ>
- ・上映作家プロフィール写真：<https://goo.gl/EMd69S>
- ・DOMMUNE 出演者写真・当日写真：<https://goo.gl/eMrbf2>
- ・応援イラスト（長尾謙一郎、谷口奈津子）：<https://goo.gl/p1U6Kp>
- ・予告編動画：<https://www.youtube.com/watch?v=5ayV9nGcFis>
- ・特報動画：https://www.youtube.com/watch?v=-lxUZjw_Qfs

お問い合わせ

「変態アニメーションナイト ザ・ツアー セレブレート」広報担当：ニューディーアー福永、藤田
〒165-0034 東京都中野区大和町3-7-2 増田ビル201
福永 Tel: 080-1385-5219 E-mail: sf@newdeer.net
藤田 Tel: 090-9244-5312 E-mail: rf@newdeer.net



【参考資料】

上映作品の紹介文と、視聴リンク(一部作品)です。

「*リンク埋め込み不可」と表示のあるリンクは、一般非公開のものとなっておりますので、ご注意ください。それ以外のリンクに関しては、埋め込み等自由にご掲載いただけます。

▼ピーター・ミラード [イギリス] 『フルーツ・フルーツ』



<https://vimeo.com/82895384>

▼エイミー・ロックハート [カナダ]

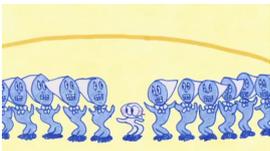
『ミス・エドモントン・ティーンバーガー1983 "あなたは永遠"』



<https://www.youtube.com/watch?v=-3Fu6AMfM14>

▼ホン・ハクスン [韓国]

『ワルツ・ドリーム』 *リンク埋め込み不可



https://drive.google.com/file/d/0B65Nvi_EWrqAcUN3QXZ5YnV6RXXM/view

▼冠木佐和子 [日本] 『ゴキブリ体操』



<https://www.youtube.com/watch?v=64ixCkz4kJ0&>

ゴキブリ、ゴキブリ、ゴキブリたいそ、うー…SNSでゴキブリみたいに増殖してる話題の作品が変態ナイトに上陸！ 数億年前から闇に潜んでいたヤツらは人間が滅亡したらこんなふうに進化するのかなとか、カサカサコソコソ隠れることなくマッチョでしなやかな肉体を手に入れたらこんなふうにも踊るのかなとか、ゴキブリと肉体美の組み合わせにとにかく興奮。

▼ヴィンス・コリンズ [アメリカ]

ヴィンス・コリンズ小特集 (『LOST IN TIME』ほか)



<https://vimeo.com/171002553>

やってきたぞヴィンス・コリンズ (from サンフランシスコ) タイム!!! 変態ナイトでも何度も何度も上映していますが、今回もやってくれます。「いったいなんなの?」という気持ちももたらすのは、怒りか、それとも諦めの笑いか…いっちょいってみよう!

▼ベリスラフ・カザコフ [カナダ]

『オーバーキャスト』



<https://www.youtube.com/watch?v=qtFdqnelxss>

屋根から滑って、荷台から落ちて、トラックに轢かれ(二度も)、猟銃に撃たれ、ダイナマイトで吹き飛ばされ、列車に轢かれ、ウサギが見つめて、猫が見つめ、そして医者告げるのは……人生みんな曇り空(オーバーキャスト)。最後に希望の光が差すといいな。

▼マルテ・ステイン [ドイツ]

『ブルードリーム』 (予告編)



<https://www.youtube.com/watch?v=aeWm8D8qxPs>

肉感的な女たちと、ちくり坊主の異星人。どの国でもマッチョな奴らは暴力と威圧に頼るものだが、小さいやつには知恵とテクがある。まるでギター早弾きのごとく、女は今日も痙攣する。青い夢、ああ青い夢…。

▼ヴリンダ・ザヴェリ [アメリカ]
『アイランド・オブ・イーボー』 *リンク埋め込み不可

<https://goo.gl/ZT1Y8T>



スラリと伸びる御脚、エロティックに赤く輝く肉体、とても大きな鼻の穴…それを舐めたい気持ちは嫌でも高まる…イーボーたちが繰り広げる地球(?)最後の楽園のナンセンスペロペロプクプク物語。アーアーうーうー…あっ浮いた! 太陽が気持ちいい…

▼カシア・ナレワジカ [イギリス]
『パイナップル・カラマリ』



<https://vimeo.com/119044030>

仲よし姉妹と彼女たちが育てるチャンピオン競走馬。2人と1頭の日常はコンビネーション抜群でリズムカル。調教して、カクテル飲んで、ピアノを弾いて、カエルを煮込んで…。でもあるとき少しだけリズムが崩れてしまって…。そんな本筋とは関係なく……なんか眼、でかくね? 輝きもヤバくね?

▼ニコライ・トドロフ [ブルガリア]
『ナイトメア』



<https://vimeo.com/37937261>

アクマが世界にやってくる。世の中を恐怖に陥れるために。しかし実は世界の方が怖い! というオチ。それはわかる。でもなんか一番怖いのは、この作品自体。見ればわかる。お楽しみに。オバマ懐かしい! 広島アニフェス 2012 で話題をさらった伝説の作品が、日本にカムバック!

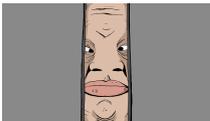
▼ダニエル・ルンドキスト [アメリカ]
『ボリス』



<https://www.youtube.com/watch?v=NwloDyT4S8I>

むかしむかしあるところに、少年がいましたとき。タイコをもらって嬉しくて、30年近く鳴らし続けましたとき。その音がうるせーから住人たちはその腕を切り取りましたとき。でも少年はそれでもタイコを叩きましたとき(えっ、どうやって?)。村の住人たちは切り落とすしかなかっただろうさ、それを…。黄金色の夢、ハイパー高速変態(メタモルフォーゼ)譚。

▼ティム・デュバル [イギリス]
『シングス・ドント・フィット』



<https://vimeo.com/68768275>

日本の住宅事情といえどとにかく狭いことが挙げられますが、この作品はまさにそれを代弁するかのよう。生きづらくて、いろんなことがちょっとずつうまくいかない中で、人間は、少しずつ進化すべきなのです。次の存在に…きちんとフィットする何かに…こわくないよ、身を任せてごらんよ…ああ…

▼アルベルト・バスケス [スペイン=フランス]
『デコラド』 (予告編)



<https://vimeo.com/162658042>

感じたことはないですか? 世界のすべてがセットのようだ…。『サイコノータス 忘れられたこどもたち』で遂に長編デビューするアルベルト・バスケス (from スペイン) はいよいよ世界的ブレイク目前。しかしその原点は「クセが強すぎる」変態的短編作品にあり。ドナルドダック、かーわいーなー!

お問い合わせ

「変態アニメーションナイト ザ・ツアー セレブレート」 広報担当: ニューディーア-福永、藤田
〒165-0034 東京都中野区大和町3-7-2 増田ビル201
福永 Tel: 080-1385-5219 E-mail: sf@newdeer.net
藤田 Tel: 090-9244-5312 E-mail: rf@newdeer.net

NEWDEER